

公安委員会定例会議の開催状況

第1 日時 令和7年5月28日（水）午後1時30分から午後3時38分までの間

第2 出席者 前田委員長（司会）・松尾委員・刈谷委員

本部長・警務部長・生活安全部長・刑事部長・交通部長・警備部長・情報通信部長
首席監察官・総務参事官・地域参事官兼人身安全対処参事官・組織犯罪対策参事官

第3 議事の概要

〔報告事項〕

1 令和7年度高知県警察県下柔道及び剣道大会の開催について

警務部から、令和7年度高知県警察県下柔道及び剣道大会の開催について報告があった。

委員から、「警察官の柔剣道の技能がさらに高まれば、県内の競技力向上にもつながるので、各選手とも安全面に十分留意し、大会が大いに盛り上がることを期待する。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「警察官採用試験の加点対象に武道の段位を新たに加えたところであり、人材確保の観点からも、大会を県民に広くアピールしていただきたい。」旨の発言があった。

2 生活安全部が所掌する許可等事務の現状と事務担当者の育成について

生活安全部から、生活安全部が所掌する許可等事務の現状と事務担当者の育成について報告があった。

委員から、「許認可は特に専門的知識が必要な重要業務であり、ベテラン職員も多いと思われ、担当者のモチベーション維持も組織的な課題だと思う。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「関係事務は膨大な取扱件数であり、将来的にはエキスパートの育成だけでは限界が来ると思われ、より一層のデジタル化推進が欠かせないと思う。」旨の発言があった。

3 夏期の水難防止対策の推進について

生活安全部から、夏期の水難防止対策の推進について説明があった。

委員から、「広報啓発活動の徹底が重要であり、特にライフジャケットの着用について、子供を持つ親の責任も含めて徹底しなければならないと思う。」旨の発言があった。

また、別の委員から、「人命を守るためには、救助者自身が事故に遭わないことが大前提であり、その点をしっかり認識して各種訓練に励んでいただきたい。」旨の発言があった。

第4 個別決裁

1 審査請求における弁明書並びに弁明書の送付及び反論書等の提出について

交通部から、弁明書の送付及び反論書等の提出について説明があり、了承した。

2 認知機能検査従事者審査及び認知機能検査従事者講習の実施に関する規則の一部改正並びに同改正に伴う意見公募手続きを実施しなかった理由等の公示について

交通部から、認知機能検査従事者審査及び認知機能検査従事者講習の実施に関する規則の一部改正並びに同改正に伴う意見公募手続きを実施しなかった理由等の公示について説明があり、原案のとおり決定した。

3 高知被害者支援センター事務局職員給与規程及び養成講座等に関する規程の改正について

警務部から、高知被害者支援センター事務局職員給与規程及び養成講座等に関する規程の改正について説明があり、原案のとおり決定した。

4 公安委員会定例会議の議事録について

公安委員会事務室から、令和7年5月14日及び同月21日に開催した公安委員会定例会議「議事録」について報告があり、了承した。

第5 意見の聴取及び聴聞関係

運転免許センターから、運転免許の行政処分に係る意見の聴取等の結果について報告があり、審議の結果、13件（危険運転1件、事故1件、飲酒7件、その他4件）の行政処分を決定した。